

北海道および宮城県における陸上風力発電所開発の検討開始
～合計最大約62万kW、計画段階環境配慮書を提出～

2022年5月30日
関西電力株式会社

当社は本日、環境影響評価法に基づき、計画段階環境配慮書等*を経済産業大臣へ提出し、北海道知事、宮城県知事および山形県知事へ意見を求めました。

配慮書等は、本年6月1日から6月30日まで、関係行政機関および当社ホームページで公表します。

当社は今後、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜り、本開発に関する検討を進めてまいります。

*環境の保全について適正な配慮をするべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。

「小樽・赤井川ウィンドファーム事業」、「古平・仁木・余市ウィンドファーム事業」、「伊達・千歳ウィンドファーム事業」、「夕張ウィンドファーム事業」、「川崎ウィンドファーム事業」に係る各計画段階環境配慮書と、それを要約した書類。(各事業名称は仮称)

以上

<各ウィンドファーム（以下、WF）の開発計画（概要）>

名称	小樽・赤井川WF	古平・仁木・余市WF	伊達・千歳WF	夕張WF	川崎WF
事業者	関西電力株式会社				
関係市町村等	北海道 小樽市 余市郡赤井川村 余市郡余市町	北海道 古平郡古平町 余市郡仁木町 余市郡余市町 岩内郡共和町	北海道 伊達市 千歳市 白老郡白老町	北海道 夕張市 夕張郡栗山町	宮城県 川崎町 山形県 山形市
設備規模 (発電出力)	最大92,400kW (4,200～6,100kW級 風力発電設備 最大22基)	最大268,800kW (4,200～6,100kW級 風力発電設備 最大64基)	最大79,800kW (4,200～6,100kW級 風力発電設備 最大19基)	最大84,000kW (4,200～6,100kW級 風力発電設備 最大20基)	最大96,600kW (4,200～6,100kW級 風力発電設備 最大23基)

<位置図>



各図は国土地理院で公開されている地理院タイルを使用